

玄界島

GENKAI ISLAND

博多港から35分。都心に近い「癒しの島」

玄海国定公園に浮かぶ「自然豊かな島」

玄界島へのアクセス



ベイサイドプレイス博多ふ頭【発】 From Baysideplace	玄界島【発】 From Genkai island
7:10	6:20
8:50	8:00
11:20	9:40
13:30	12:10
16:45	14:30
18:30	17:35
21:00	19:45

*12月-2月は20:35

渡船運賃

片道：大人 870円 子供 440円
大人1人につき幼児1人無料



運行状況はこちらから



HP



Instagram

★玄界島の紹介★

福岡県西方沖地震からわずか3年。奇跡の復興を遂げた「団結の島」

玄界島は、博多ふ頭から市営渡船で約35分、博多湾と玄界灘の境の、玄海国定公園区域内に位置しています。周囲4.4kmの円錐形の島で、遠見山(標高218m)が島の最高峰です。水産業が島の基幹産業で、サワラ、ブリ、フグ、ヒラメ、アワビ、サザエ、エビや加工したワカメ、さわらめしの素などが特産品です。

平成17(2005)年3月20日の福岡県西方沖地震により甚大な被害を受け、全島避難を余儀なくされましたが、島民が一丸となり復興に取り組んだ結果、「約3年間」という短期間で復興を遂げました。



紹介動画



百合若伝説

いにしへの昔から語り継がれる「百合若伝説の島」

時は平安時代。豊後の国主、百合若が部下の別府兄弟に裏切られ、玄界島に置き去りにされます。別府兄弟から「百合若は病没した」と報告を受けた百合若の妻、春日姫は夫の死を信じられず、手紙を鷹の緑丸の脚に結びつけて放ちます。百合若は緑丸により春日姫と連絡を取り合いながら一人玄界島で生き延びます。ことを知った百合若は峯崎の船を掴まえて帰還し、最後は別府兄弟に復讐を果たし妻と幸せに暮らしました。市営渡船の船舶名「みどり丸」は、この鷹の名前に由来しています。

※玄界島の小鷹神社には、亡くなった緑丸が祭られています。また、百合若は、春日姫の身代わりになった万寿姫を忍んで「万寿寺」(大分市)を建立したと言われ、近くには、百合若の墓とされる「大臣塚古墳」があります。



瀬渡船「若佐丸」の紹介



- 釣りスポットまでの瀬渡し
- 島の周遊ツアー
- 連絡先
090-7167-3488